

仙台市の社会教育事業について

平成 29 年 1 月に策定した「第 2 期仙台市教育振興基本計画」（計画期間：平成 29 年度～令和 3 年度）に基づき、学校・地域・家庭の連携のもと、豊かな学びをつくとともに、生涯にわたり学びにあふれ交流するまちをつくるため、多様な取り組みを実施している。

令和元年度予算総額（生涯学習部・社会教育施設）

<歳出> 68億 9,357万円

<歳入> 17億 5,654万円

1. 人と社会をつなぐ多様な学びの機会の充実

すべての市民が生涯を通じて学び、豊かな人生を送ることができるよう、充実した多様な学びの機会を提供するとともに、市民の主体的な学びを支援する。

（1）ライフステージに応じた学びとネットワークづくりの支援

- ・社会学級の運営支援
- ・子どもの読書活動の総合的な推進
- ・図書館における学校との連携推進

（2）市民センターにおける地域に根差した学び・交流の場の提供

- ・市民センターの運営管理
- ・市民センター講座の実施

2. 多様な社会教育施設による多彩な学びの充実

社会教育施設それぞれの特性に応じた施設運営を継続するとともに、施設の専門性を生かしながら相互に連携し、多面的な学びの場を提供する。

（1）博物館

- ・市史活用推進
- ・特別展等の開催 等

（2）科学館

- ・科学館展示リニューアル
- ・展示事業、自然観察会・科学工作教室の開催 等

（3）図書館

- ・仙台市図書館振興計画推進
- ・サービススポットの運営 等

(4) その他の社会教育施設 ※〔 〕内は、所管課

- ・せんだいメディアテーク〔生涯学習課〕
- ・大倉ふるさとセンター〔生涯学習課〕
- ・泉岳自然ふれあい館〔生涯学習課〕
- ・歴史民俗資料館〔文化財課〕
- ・富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）〔文化財課〕
- ・縄文の森広場〔文化財課〕
- ・天文台〔生涯学習課〕

3. 学びの成果を生かし人と人がつながる仕組みづくり

自ら学んだ知識や経験を、地域のまちづくり等へ成果として生かし還元できる機会を提供し、人と人がつながる仕組みづくりを支援する。

- ・社会教育施設ボランティアの育成 等

4. 豊かな資源を活用した学びの提供・魅力の発信

豊かな自然や伝統ある歴史、多くのミュージアムなど、多様な学びの資源を活用することで、学びの機会の充実を図る。

(1) 仙台の歴史や文化の継承と発信

- ・陸奥国分寺・国分尼寺跡整備
- ・郡山遺跡整備
- ・仙台城跡整備推進

(2) アートによる地域資源の再発掘、地域人材の育成

- ・せんだい・アート・ノード・プロジェクトの実施
- ・仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）の運営

5. 地域とともに歩む学校づくりの推進

学校・地域・家庭が連携・協力し、子どもの豊かな育ちを支える体制づくりを進めるとともに、地域の将来を担う人材の育成に取り組む。

(1) 地域力を生かした子どもたちの放課後等における学び・活動の機会の提供

- ・放課後子ども教室の運営
- ・土曜日の教育支援体制等の構築

(2) 地域・家庭・学校をつなぐ活動の支援

- ・ P T A活動の支援
- ・ 嘱託社会教育主事の活動支援

(3) 地域に対する学校の開放

- ・ 学校体育施設開放の実施
- ・ 学校図書室等開放の実施

6. 親子のふれあいの機会や家庭教育を考える場の提供

親子がともに学びふれあう機会を提供するとともに、家庭の教育力の向上を支援する。

(1) 親子がともに学びふれあう機会の充実

- ・ 親子食育講座の実施

(2) 親が学ぶ機会の充実

- ・ 子育て講座の実施

7. 地域を支える人づくりと地域づくりへの貢献

地域における豊かな学びの循環により地域を支える人材が育成されるよう支援を進め、地域づくりへの貢献を目指す。

- ・ 学びのコミュニティづくりの推進
- ・ 住民参画・問題解決型学習の推進
- ・ 「学びのまち・仙台」市民カレッジの実施